

Publication number: JP8251373

Publication date: 1996-09-27

Inventor: FUJIWARA KATSUYOSHI; ISHIKAWA KATSUTOSHI;  
UBUKAWA ATSUSHI

Applicant: SHARP KK

Classification:

- international: G03G21/00; H04N1/00; H04N1/21; H04N1/32;  
G03G21/00; H04N1/00; H04N1/21; H04N1/32; (IPC1-7):  
H04N1/32; G03G21/00; H04N1/00; H04N1/21

- European:

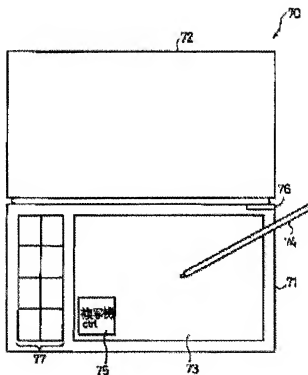
Application number: JP19950050070 19950309

Priority number(s): JP19950050070 19950309

Report a data error here

#### Abstract of JP8251373

**PURPOSE:** To improve the job efficiency without operating and occupying an image forming device for a long time by providing a communication control means controlling a transmission means to send image information based on received communication control information. **CONSTITUTION:** The operator uses an external operation terminal equipment 70 to set communication control information including cross reference between a telephone number in facsimile communication and a name of transmission destination. Then a 1st transfer means of the external operation terminal equipment 70 transfers communication control information from the external operation terminal equipment 70 to an image forming device main body. Then a 1st reception means of the image forming device main body receives communication control information transferred by the 1st transfer means. Then a communication control means of the image forming device main body side controls a transmission means to send image information based on the communication control information received by the 1st reception means. Thus, the area of the operation to set the communication control information by the operator is made wide.









11

(7)

る、これより、一般の使用が、一般の用途のための外、他種用途で用いることにより不適宜に他種用途又は本発明の重要な要素と見なされる不具合が生ずる。[0051] 次に、上記ステップ7で完成のデータ型変換の構成について、今、操作手段、外部記憶媒体、制御回路の構成を設定する。第1転送手段、外部記憶媒体から、外部記憶媒体に上記の構成を転送する。

12

(7)

[0052] そして、外部記憶媒体を制御回路で、第2受信手段が上記した上記構成の転送不能制御回路が動作する。次に、不都合が生ずる段に到達している制御回路を制御回路本体に送達するように、転送回路の第2転送手段を制御する。

[0053]

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)

(7)







21

【1014】上記のような情形により、著作権者本人に依拠された著作本文や、複製物複製品原本から取捨可能な範囲を必要としない複製物複製品を、複製物複製品本文から取捨可能な範囲を必要とするものとなり、製作・演出・上演・演奏等の権利を設定するための権利の範囲が向上することである。

【1014】また、複製物複製品の生産性を高めるために、複製物複製品の権利を必要とせず、時間上制限が認められない、これにより、長時間、上記著作権者本人に製作させていることがなく、作業負担が向上する。また、手間は省けるからでない。製作負担が向上する。

【1014】また、複製物複製品はO1で利用できる複製物複製品である。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

中間値4.03との間に落ちた  
7ノブが連続4.10に上って  
一戦が走された用兵は着  
上の7ノブ一戦が既に四角陣  
10.151、また、図2.9に  
0.0の面には1.9（注本  
信手段、同戦後信手段）が  
10.151、図3.0に示す上  
を問うた場合はバー4.17  
0.0の上面は戦後バー4.4  
の操作バー4.19には、所  
属戦の例後を用いたソフト4  
に及ぶる戦うる間に戦作

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

置の構成  
を有する。図32に  
示すように、機  
に用いられる構  
造はほぼ同様で  
あり、構造を備  
えている。端部  
のタッチパネル  
5570を用いて  
1Rに設けられ  
た（送手段）を介し

に、増末集置本株の解鎖を行う割戻率(送手戻)と、携帯プログラムの格納したデータのプログラムを格納した端末装置5700を、さらには処理された複写機からM583を備えて、複写機本体4000と携帯端末装置5700とに関する場合の処理に、送受信制御回線と、送受信データ

①、候補者500  
 名、候補者データを受信し、  
 受信原稿メモリ  
 に格納する  
 (n1502)  
 ②、操作パネル  
 にディスプレイ4.2  
 2に候補者500の候補  
 数及び数字ユニ  
 コードにより表  
 示することによ  
 り、原稿メモリ  
 510に格納する  
 (n1502)

31

合は、(n1505)、例外的に5001は上記の通信料倍増率を適用しない(n1506)。すると、制費は5001は光字を装置411の所収の組み込みユニット413において所収台414に直接の電線を走らせることによって組み込み、走線距離はメモリ507に記録することによって、プログラムして送受信を制御する機能を決定する(n1507)。そして、オートダイヤル502に電話番号を供給して回線が接続されると、走線距離メモリ507内の記憶データを符号化して505で送受信メモリ504に符号化し、メモリ504から送受信制御回路501に受け付けられ公衆電

101681 11505 において、送金スベツチ4216  
割増された場合、税割増税費570から赤米納送  
受引割増51を引て税割増税費4009(ベツチ) (通称  
ベツチ割増)が成立する場合には、(1509) 減  
らてきたベツチに従って、上記割増、税割増500が  
通称割増税費を認める。(11505) そして、原料  
価格取りエニフ4133により割増金414.4上の割増を  
足すことによって認められ、送金割増(ベツチ)507  
に換算することによって、ツラシミに換へべき割増

【0169】このため、複写機本体に一体化された操作パネルや、複写機本体から取り外し可能な操作パネルを、複写機本体とするのと異なり、操作者が通信制御装置を操作して画像データを送信する(n1508)。

するための操作する部分の面積を広くすることができ  
る。  
[0170]したがって、複雑な動作の全設定を終える  
のに複雑な動作行動が必要ないので、時間と手間がわか

らない。これにより、東洋館、東京製本所400を製作せしむに資することなく、作業の速が向上する。また、半田が多くならないので、読後世界が容易になる。

【0171】また、このような動作端末装置570を操作するだけで、携帯電話400から通信回線を通じて画像情報を送信することができる。

【0172】次に、携帯端末装置570から通信回線通信

損を受信した際の動作の遅延時間の例を図35を用いて説明する。すなわち、通常モード設置570から赤外線送受信回路511を経て受信機本体400へ通信制御信号が送られてきた場合には(n1601)、制御部500

により、送られてきた通信開始情報と、電卓機本体400の通信開始情報記憶部503で記憶している通信開始情報とを比較する（n1602）。転送されてきた上記通信開始情報のうちの送信先の名前が、通信開始情報記憶

と一致しない場合は、携帯電話装置 570 から送られてきた通信制御情報を通信制御情報記憶部 503 に記憶させる (n1603) \* このようにして、通信制御情報記

(17)

【0173】次に、同じく携帯電話未装着570から通信

[illegible]

電話番号を、通話開始情報電話番号503内に記載された通話開始情報宛の、送信元番号が一致したデータに対応する電話番号と比較する（n1703）。

（0175）n1703において電話番号が一致しない場合は、通話開始情報電話番号503内に記載された通話開始情報のうち、送信元番号が一致したデータに対応する電話番号との間に、桁数差が最大500から返されてきた電話番号データを記載させることにより、通話開始情報電話番号503内の通話開始情報データを、通話開始情報電話番号503内の通話開始情報宛の電話番号（n1702）と一致した、通話開始情報宛の電話番号（n1703）と一致する電話番号（n1704）を抽出する。

503内に記録されている古い送信先の名前や電話番号を容易に変更させることができる。これにより、送信先の名前や電話番号からなる電話番号データの作成処理の煩雑化を防止できる。

【0176】次に、同じく携帯電話装置570から通信制御部を受信した際の動作の概略手順の他の例を図37を用いて説明する。すなわち、携帯電話装置570から赤外線送受信回路511を経て相手機本体400へ通

情報開示すなわち電話番号と送信先の名前とを含むデータを送る際に、その電話番号と送信先の名前との組み合わせからなるデータの新しいさを示す経緯情報が上記通信履歴情報に付加される。そして、この通信履歴情報が

【0177】この経緯情報としては、上記データの断片さを示すものであれば特に限定されない。例えば、電話番号を修正したり、あるいは送信先の例えば姓名変更や送られ、受信される (n1801)。

部門変更に伴い近国先の者を修正したりすると、その修正ごとに、改定回数として増加する数値（第2版、第3版、・・・等）のように、データが切めて設定されてから以降の持ち変わりの様子を示すものを採用することと

【10178】そして、制訓部500により、送られてきた通信制訓部車の中の詳細情報と、複写機本体400の通信制訓部機に記録503で記録している、対応する通

33

530円に記録されてきた通商制情報価格のほ  
 うな新しい場合（n1802）は、通商制情報価格部  
 530円に記録されてきた通商制情報価格のわ  
 りに、情報部530円から送られてきた上述情報  
 価格を記録する。これにより、通商制情報部530  
 円からの通商制情報価格を送る（n1803）。こ  
 のようにして、通商制情報価格530円に記録さ  
 れる古い電話部を容易に廃棄できる。ここで  
 により、電話部データの再配置の操作をより一  
 層簡便にする。

【0179】次に、同じく動作の順序と手順の70から図38を用いて説明する。すなわち、特許第4326870号の請求項2を受取回線511を通じて受信機41は500へ通信開始情報を送信する。受信機41は500へ通信開始情報を受信する。同時に、放送の番組情報として、その放送番号と放送先の名前とを組み合わせたなるアドレスを決定した時を示す訂正情報が必要である(400へ送られる)(n1801)。

【0180】上田時付情報は、特許第4326870号上

より自動的に通信情報に付加される。これにより、操作が簡略化される。しかしながら、操作者が手動で日時を入力してもよい。

た通信制通信情報の中の経路情報と、覆写機本体4000の通信制情報記憶部503で記憶している、対応する通信制情報の中の日時情報とを比較する。そして、携帯電話570から送られてきた通信制通信情報のほうが

新しい場合（n1902）は、通信制訓練生が記録簿503内に記載された該当する通信制訓練情報の代わりに、携帯電話未設置570から送られてきた上記通信制訓練情報を記載させることにより、通信制訓練生が記録簿503内

の通信記録情報を書き換える（n1903）。このよう  
にして、通信記録情報記憶部503内に記憶されている  
古い送信先の名前を容易に変更させることができる。し  
たがって、電話番号と電話番号に対応する相手先の名前

【0182】上記のように、経路情報として日時を用いるので、操作者等がこの日時を見れば、入力されている

電話番号や宛て先が最初のものかどうかすぐに分かるようになる。このため、古い電話番号に連絡したり宛て先をまちがえる不具合を減少させることができる。

【0183】一カ、日呼でなく前述のように「第2

て経緯を記述すれば、携帯電話未装着は70内に時計機能を組み込む必要がないので、構成が簡素化する。また、操作者が日付を入力する必要がないので、操作が簡略化

(18)

[illegible]

を述べる（n2003）。

[1018] その具体例として、図40に示すような携帯電話機570から送られる通信情報と、その電話番号、電子帳本400内で登録する（n2010）。すると、携帯電話400内で、上記電話番号に従って、送受するときに通信情報を近接する（02）、そして、送信電圧プロフィール画像を送信（n2103）。

[1018] また、他の具体例として、図41に示うに、携帯電話機570から送られる通信情報と、

00個で受信する (n2101)。すると、推定標本400個で、上記電話番号および送信先の名前に従って、後述するように属性推定値を算定する (n2102)。

(n2103)。  
【0187】次に、画像情報の推定動作の最終手順の  
を図42を用いて説明する。すなわち、原稿読み取り  
ユニット413が、原稿を414上にセットされた図面

20 対して光源413a・413bにより光を照射することによって屈折を定査する(n2301)。そして、前からの反射光を、ミラー413c・413d・413e、レンズ413fおよびCCDセンサ413gで感

取る (n2302)。その後、制鋼部500により、み取った画像を走査原稿メソリ507に格納することによって、画像情報として決定する (n2303)。

【0188】次に、画像情報の決定動作の概略手順の

\* の例を図4.3を用いて説明する。すなわち、携帯電話の例を図4.3を用いて説明する。すなわち、携帯電話

【0189】したがって、複写機本体400から離れた場所、操作部分の面積が十分に広い面積を持った装置

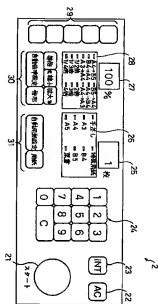
不変長（レコード）で構成した関係を利用することになるので、複写やアプテンドミリ追加などのデータ処理を速に行うことができる。これにより、より多種多様の像を用いて容易かつ迅速に上記データ処理を行うこと



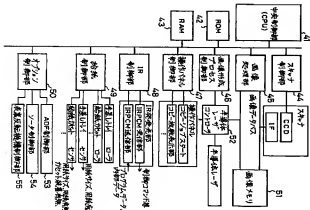


(23)

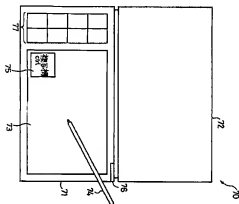
【例 3】



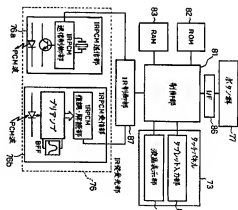
【圖 4】



【圖 5】

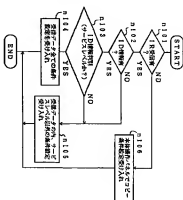


【圖 6】

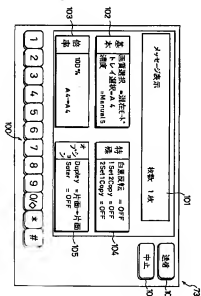


(24)

**【圖 1-7】**



【圖 7】



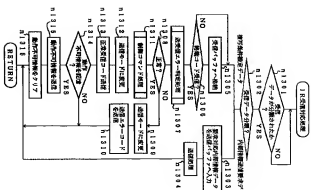
(25)



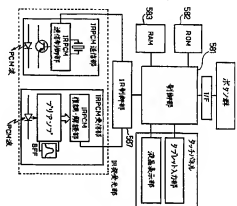
(29)

(30)

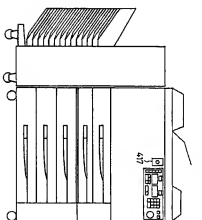
[図 2.5]



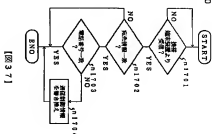
[図 3.3]



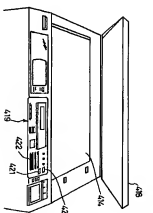
[図 2.9]



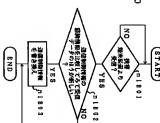
[図 3.6]



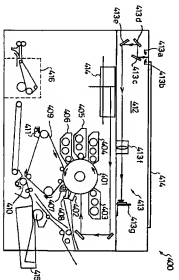
[図 3.0]



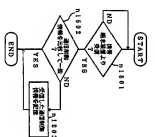
[図 3.7]



[図 2.8]



[図 3.5]



[図 4.3]



[図 3.8]



[図 3.9]



[図 4.0]



[図 4.1]



